



支援内容

- 富山県よろず支援拠点
- 若者・女性・シニア創業チャレンジ支援事業

韓国子ども服の販売をネットでも開始 店頭との相乗効果で売上拡大



「訳あって、妹がやっていたお店を私が引き継ぐようになりました。その時、事業をどのように引き継げばよいのかわからず、ネットで『事業承継 富山』で検索してみたのです。すると『富山県よろず支援拠点』が上位に表示され、『事業承継の相談を受けつけます』と紹介文がありました。さっそく予約の電話を入れて約束の日にかがったのが、新世紀産業機構との付き合いの始まりでした」

そうやって平成29年の夏頃を振り返るのは、加納百合子さん。韓国の子どもの服を店頭並びにネットで販売しているお店・ANDの代表者である。

その加納さんがお店を引き継ぐようになった「訳」とは、妹の妊娠・出産により、お店の運営を継続することが難しくなったことだった。“軌道に乗っているお店を、1年間休業にするのはもったいないし、休業している間もお店の家賃は払わなければならない”等々の理由から、お店の継続が検討され、白羽の矢が立ったのが姉だったわけだ。

事業承継のアドバイスを受ける

とって姉の加納さんは当時、フリーの身ではなかった。広告代理店に勤め、クライアント企業のテレビCMや新聞・雑誌の広告制作に携わり、またネット社会が普及するにつれてWebやSNSを活用したマーケティングも取り入れて、客先へ宣伝・販促企画を提案するなど多忙な日々を送っていたのだが、妹のこれまでの努力をムダにしたいという思いが強くなって、「これを機会に……」と店を引き継ぐことにしたのだ。

ところが事業承継を決心したとはいえ、不安な点はいくつもあった。単に書類上の名義変更だけでよいのか。債権債務の引き継ぎはどのようにしたらよいのか。税法上、留意しなければいけない点は……等々。それら疑問について相談できる場所がないかと探して行き当たったのが、当機構の富山県よろず支援拠点であった。

「税務にも詳しいコーディネーターが、個別の事案につ

いてアドバイスしてくれましたし、私が気づいていなかった課題についても指摘され、その解決策も例示していただき、引き継ぎそのものはスムーズに運びました。その相談事が一段落したところで、コーディネーターが『女性の創業を応援する助成制度があるから、応募してみないか』と勧めてくれたのです」(加納さん)

その助成制度とは、「若者・女性・シニア創業チャレンジ支援事業」(平成29年度)のこと。創業時の機械設備の導入費や広告宣伝費、人件費などの一部を補助しようというもので、採択になれば事業費の1/2の支援を受けることができる。コーディネーターから申請を勧められたのは、締切の1週間ほど前であったが、加納さんは書類一式を早急に整えて申し込んだところ、採択になったのだ。

システム整え、ネット販売も開始

「私はネットでの販売も考えていました。そうするとシステムを立ち上げなければいけませんし、メンテナンスもしなければいけない。当然、受発注や在庫の管理・商品の発送・入金の確認などの業務も出てきます。店頭販売とネット販売の相乗効果も期待していました」(加納さん)

調べてみると、デザイン性の高い韓国の子どもの服は静かなブームを呼び、平成29年夏の時点でインスタグラムの投稿は370万以上あり、北欧子ども服(同1,884件)や輸入子ども服(同11,536件)を圧倒していたが、個人販売者が多いことからトラブルが多発していたことがわかった。例えば欠品が多い。また確認せずにメーカー提供の画像を使うため、ネット上の画像と実際の商品が異なる……等々。韓国語ができる加納さんは、メーカーとの情報交換に齟齬や誤解が生じないように念を入れて確認し、商品写真は自分たちで撮影。商品のデザインや色調を正確に伝えるよう心がけたのだ。その結果、引き継ぎからこの取材までの2年半の間で、売上げは約7倍。店頭とネットの販売比率は3対7で、ネット販売はまだ増える傾向にあるという。

最後に、今後の抱負についてうかがった。例えばテストの違う子ども服を、別ブランドで販売する、あるいは実店舗を増やす計画はないか、と。以下の答えが返ってきた。

「韓国の大人向けのファンションを扱ってみたいと思います。そのためには、ここより広いところに引っ越す必要があり、また人材も育てなければいけません。接客ができて、向こうのファッションの特長をお客様に伝えることができないといけません。もう少し時間がかかりそうです」

加納さんの八面六臂の活躍は、まだまだ続く。



同店で扱っている韓国製子ども服の一例。日本の量販店の子ども服と比較するとお値段は2〜3倍するが、落ち着いた色調でしっかりとデザインされているので、ファンは多い。



PROFILE

所在地 富山市牛島本町1-1-38
代表者 加納 百合子
従業員 7名(パート含む)
事業 韓国子ども服の輸入販売
TEL 076-456-2594
URL <https://andseoul.com/>

加納百合子さん



店長(左)から、接客やコーディネートの仕方のアドバイスを受ける。



店内の様子とスタッフの皆さん。ちなみに店頭営業は月・火・木・金の11:00~15:00。

